

令和2年度 ふるさと上越応援寄附金 実績報告書



▲一斉雪下ろし（令和3年1月）



▲高田城址公園内の桜の剪定作業



新潟県上越市



謙信くん



けんけん



兼統くん

はじめに



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のほか記録的な大雪にも見舞われ、より多くの課題対応が求められる年となりました。

そうした中でも、多くの皆様からご支援をいただいたことで、様々な事業を実施することができました。

当市へのご支援に厚く御礼申し上げますとともに、昨年度にお寄せいただいた寄附の状況、寄附金活用事業の成果などをご報告します。

今後とも「ふるさと上越市」へのご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

目次



1	寄附実績の概要	… P.2
2	寄附金の活用状況、事業実績	… P.4
	○ 水族博物館うみがたりの魅力向上	… P.4
	○ 高田城址公園の桜の保全、公園整備	… P.4
	○ 春日山城跡の保存・整備、謙信公関連事業の推進	… P.5
	○ 文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰	… P.5
	○ 移住・定住の促進	… P.6
	○ 出産・子育て支援	… P.7
	○ 教育環境の整備	… P.7
	○ 高齢者福祉の推進	… P.9
	○ 社会福祉施設等の整備	… P.9
	○ 市長にお任せ	… P.10
3	寄附者の皆様と応援メッセージ紹介	… P.11

1 寄附実績の概要



■寄附の状況（期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

- ・総寄附件数 75件（前年度比：6件増）
- ・総寄附金額 18,509,770円（前年度比：2,937,740円増）

■寄附項目（寄附金の使い道）別実績内訳

寄附項目（寄附金の使い道）	件数	金額
水族博物館うみがたりの魅力向上	4件	190,000円
高田城址公園の桜の保全、公園整備	9件	591,270円
春日山城跡の保存・整備、謙信公関連事業の推進	9件	248,500円
文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰	3件	240,000円
スポーツ振興の推進	—	—
移住・定住の促進	1件	100,000円
出産・子育て支援	6件	1,270,000円
教育環境の整備	4件	1,730,000円
高齢者福祉の推進	16件	2,530,000円
障害者福祉の推進	—	—
社会福祉施設等の整備	1件	10,000円
市長にお任せ	22件	11,600,000円
合計	75件	18,509,770円

■寄附件数と金額の推移（過去3年）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
寄附件数	71件	69件	75件
寄附金額	17,715,620円	15,572,030円	18,509,770円

■寄附者の居住地別内訳

寄附者のお住まい	件数	金額
上越市内	14 件	7,026,270 円
新潟県内（市内除く）	6 件	2,240,000 円
新潟県外 （北海道・東北地方 1 件、関東甲信地方 43 件、 北陸地方 1 件、東海地方 3 件、近畿地方 7 件）	55 件	9,243,500 円
合 計	75 件	18,509,770 円

■寄附者の年代別内訳

20 代 以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代 以上	未回答	団体
4 名	10 名	11 名	15 名	13 名	17 名	3 名	2 団体

■寄附金額区分別内訳

寄附金額区分	件数
10,000 円未満	4 件
10,000 円以上 50,000 円未満	36 件
50,000 円以上 100,000 円未満	5 件
100,000 円以上	30 件

2 寄附金の活用状況、事業実績



～水族博物館うみがたりの魅力向上～

上越市立水族博物館うみがたりの整備・運営

190,000 円

寄附金は、将来的な上越市立水族博物館うみがたりの整備・運営に活用するため「上越市立水族博物館整備運営基金」に積み立てました。

令和 2 年度は、テーマである日本海に生息する水生生物、マゼランペンギンや鯨類の常設展示のほか、SNS やインターネット上での動画配信を活用した特別展「食べがたり」の実施など、コロナ禍に応じた手法を取り入れた情報発信を行うことにより、入館者だけでなく、幅広い範囲の方々の興味や学習ニーズに応えられるような取組を行いました。

今後も、学びの場・交流の場として持続的な利用を確保するために、積み立てた基金などを活用しながらコロナ禍に応じた展示や教育普及事業の構築、施設の適切な管理運営を行うとともに、コロナ禍を踏まえ、リニューアルの内容や実施時期を検討していきます。



▲特別展「食べがたり」の配布冊子



▲企画展「クリオネが舞う流水の世界」

～高田城址公園の桜の保全、公園整備～

高田城址公園樹木保守管理事業

591,270 円

寄附金は、高田城址公園の桜の保全事業に活用しました。

園内の桜は、高田城址公園桜長寿命化計画に基づき桜守、市民・市民団体、造園業者、樹木専門家（樹木医）らの連携が図られ、樹木の計画的な世代更新と生育の健全化（枝の剪定、土壌改良、桜の植替え等）が着実に進んでいます。

また、市民との協働プロジェクト「桜プロジェクト J」では、園内の桜の施肥（お礼肥え）、腐葉土を用いた土壌改良、講習会等の活動に継続的に取り組んでいます。

令和 2 年度は、豪雪の影響により園内の桜も枝が折れる被害がありましたが、一本一本丁寧に処理を行うことで観桜会の時には綺麗な状態で来園者を迎えることができました。

今後も計画に基づき事業を進め、日本三大夜桜にふさわしい桜の花が咲くように、より一層の管理の充実を図っていきます。



▲桜守の活動風景（雪で折れた枝の処理）



▲桜プロジェクト J 活動風景（土壌改良）

～春日山城跡の保存・整備、謙信公関連事業の推進～

春日山城跡保存整備事業

248,500 円

寄附金は、上杉謙信公の居城である国史跡春日山城跡の保全、景観整備等の取組に活用しました。

令和 2 年度は、パトロールと連携して日常点検を継続し、専門家の指導を受けながら、城跡保全に不可欠な雨水処理や植生管理、遊歩道のあり方等を検証し、遊歩道修繕、大雪後の倒木処理等の手当てや工事を行うことができました。

また、市民団体や地元小中学校との協働による草刈りや土の一袋運動、松葉かき等の取組を通し、城跡の保護と郷土の史跡への愛着を深めることができました。

引き続き、雨水処理や植生管理等の日常的な点検・観察を続け、市民とともに春日山城跡の保全に取り組んでいきます。



▲散策会の様子



▲小学生による土の一袋運動の様子

～文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰①～

歴史的建造物等整備支援基金

40,000 円

寄附金は、指定文化財や歴史的建造物の修繕等の支援を目的とする「上越市歴史的建造物等整備支援基金」に積み立てました。

令和 2 年度は、2 件の国登録有形文化財の改修事業に係る補助金を基金から交付し、支援することができました。

板倉区の国登録有形文化財「鴨井家住宅主屋」の茅葺屋根改修事業では、令和元年度事業の北面及び西面一部に引き続き、令和 2 年度事業として南面及び西面一部の老朽化した茅葺屋根について、葺き替えが行われました。

吉川区の国登録有形文化財「善徳寺経堂」の修繕事業では、老朽化が進んでいた漆喰壁の経堂及び木造の覆屋について、修復と耐震工事が行われました。

今後も、事業の実施により歴史的建造物等の保存を図るとともに、市民団体などが主体となって行う活動を支援していきます。



▲鴨井家住宅主屋茅葺屋根 葺き替え後



▲善徳寺経堂 修繕の様子

～文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰②～

スキー発祥記念館の管理・運営

200,000 円

寄附金は、日本スキー発祥記念館に収蔵する資料の整理等に活用しました。

収蔵資料の再整理により今後の展示等の活用に資する資料の一部について詳細な情報をまとめることができました。また、これにより令和3年度以降について、収蔵資料の研究を進め新たな価値付けを行う目途を付けることができました。

今後も、日本のスキー史、スポーツ史、産業史における極めて貴重な資料を適正に管理・活用するため、資料の台帳化・データベース化を進めていきます。



▲スキー発祥当時、高田市で製作した藁靴用スキー



▲ハナマゲキ（スキー先端の加工具）

～移住・定住の促進～

上越市ふるさと暮らし支援センター事業

100,000 円

寄附金は、U I J ターンの促進に活用しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から移住関連イベントへの出展をオンライン参加とせざるを得なかったことにより、イベント参加者と直接面会する機会を設けることが困難となりましたが、オンラインを活用し上越市ふるさと暮らしセミナーや個別相談会を開催したところ、首都圏のほか、郊外にお住まいの方からも参加があり、コロナ禍においても移住検討者とのつながりを創出することができました。

また、電話や来庁など当市の窓口へ直接相談される方が前年度よりも増加し、具体性の高い移住相談も増加しています。

今後も、SNS等を活用し当市をPRするとともに、支援制度等の情報提供や丁寧な相談対応、移住体験ツアーの実施、関係部署や団体等と連携した移住前後のサポートなどに努め、当市が移住先として選ばれるよう取り組んでいきます。



▲上越市ふるさと暮らしセミナーの様子



▲移住体験ツアーの様子

～出産・子育て支援～

妊産婦・子ども医療費助成事業 1,270,000 円

寄附金は、妊産婦と子どもの医療費を助成する事業に活用しました。

令和2年度は、これまでの小学校就学前児童に加え、市民税非課税世帯の小学生の一部負担金も助成して完全無料化しました（9月から実施）。

また、母子手帳交付日の翌月初日から出産日の翌月末日まで間、妊産婦の医療費の完全無料化を継続しています。

いずれも子育て世帯の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見と早期治療の促進を図ることができました。



～教育環境の整備①～

板倉小学校統合事業 102,000 円

寄附金は、令和3年3月末をもって、板倉区の3つの小学校（針、宮嶋、山部）を統合し、新たに板倉小学校として開校するにあたり、必要な整備に活用しました。

講演台等の必要な備品を購入することで、児童にとって望ましい学習環境の整備を完了し、板倉小学校の開校に備えることができました。



▲板倉小学校 講演台

～教育環境の整備②～

小学校教材費、中学校教材費 713,000 円

寄附金は、学校図書の整備・維持のための費用として活用しました。

令和2年度は、国が定める学校図書標準冊数を全学校で達成することができました。

今後も、この標準冊数を全学校で維持できるように努めていきます。



▲市内小学校の図書室

～教育環境の整備③～

公民館図書室事業 51,000 円

寄附金は、公民館図書室（11 か所）の図書購入費に活用しました。

令和 2 年度は、700 冊の図書（うち児童図書 284 冊）を購入し、蔵書を充実させることができました。

今後も、利用者へのアンケート結果やリクエストボックスの更なる活用等を通じて、地域住民の声をより反映させた魅力ある図書選定や、貸出しが多いジャンルの傾向を踏まえた配架等、公民館図書室の利用促進につながる取組を進めていきます。



▲市内公民館の図書室

～教育環境の整備④～

高田図書館図書充実費、直江津図書館図書充実費 864,000 円

寄附金は、児童図書購入費に活用しました。

令和 2 年度は、絵本や物語など 2,415 冊の児童図書を購入し、蔵書を充実させることができました。

市立図書館は、分館を含め年間 18 万人を超える方々の利用があり、多岐にわたるジャンルの図書を購入し、図書の充実を進めています。

児童図書については、個人への貸出しだけでなく、保育園や学校などにも貸出しを行っています。

一般のコロナ禍では、放課後児童クラブへの貸出しを増やし、コロナ禍で子ども同士がくっついて遊んではいけないといった行動にも一定の制限がある中において、児童図書を有効活用してもらうなど、これまで以上に子どもたちが本に親しむ機会を提供するための取組を進めていきます。



▲新たに購入した児童図書の紹介
(高田図書館)



▲こどもとしょじつ (直江津図書館)

～高齢者福祉の推進～

要援護世帯除雪費助成事業

2,530,000 円

寄附金は、要援護世帯に対する除雪費用の助成に活用しました。

家屋の屋根、玄関前、その他の日常生活上欠くことのできない場所の除雪作業に要する費用を助成することで、自らの力で除雪することが困難なひとり暮らし高齢者など、要援護世帯の冬期間における生活の安全を確保することができました。

平野部でも海岸線に近い場所で降雪量が多くなる年や、極端に少雪になる年など、雪の降り方に変化が見られる現状を踏まえ、引き続き、除排雪の支援基準等の検討・研究を重ねながら、要援護世帯の冬期間における雪害事故の防止と生活の安全確保に向けた取組を進めていきます。



▲民家周囲の除雪の様子

～社会福祉施設等の整備～

上越市社会福祉施設整備基金

10,000 円

寄附金は、将来的な社会福祉施設等の整備に要する資金として活用するため、「上越市社会福祉施設整備基金」に積み立てました。

令和 2 年度は、基金の運用益を活用し、有田保育園敷地内のロータリー化工事を実施することができました。この工事により、送迎時に慢性的に発生していた保育園前道路の交通渋滞が解消され、園児の安全確保が図られました。



▲上越市立有田保育園ロータリー①



▲上越市立有田保育園ロータリー②

～市長にお任せ①～

除雪費（市道除排雪委託料）

10,000,000 円

寄附金は、市道除排雪の費用に活用しました。

令和2年度は記録的な大雪になったことから、市道除排雪委託料の予算が大幅に不足することが見込まれたため、補正予算と合わせて寄附金を活用し、必要な市道除排雪作業を進めることができ、車道及び歩行空間を確保しました。

今後も大雪があるものと想定し、円滑な道路交通確保に努めるよう準備を進めていきます。



▲除雪作業



▲拡幅作業

～市長にお任せ②～

新型コロナウイルス感染症対策

1,600,000 円

寄附金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援や経済対策等に活用しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者に対し、国や県が行う各種支援事業の補完やつなぎ支援を中心に、事業者や商工団体、金融機関の皆さんなどの声を聞きながら、時機を捉えた市独自の取組を展開することができました。



3 寄附者の皆様と応援メッセージ紹介



令和2年度の寄附者の皆様と、いただいた応援メッセージを紹介します。なお、寄附のお申込みの際に同意いただいた方のみ掲載しています。（掲載はお申込み順。）

お名前	寄附金額	上越市への応援メッセージ（原文のまま）
永久 均 様	100,000 円	—
(株)越の国 いろり庵 様	66,270 円	上越市で取り組んでおられる「日本三大夜桜観桜会 美しい桜の保全活動を支援しよう！」活動とても素敵です。歴史と文化の「日本三大夜桜」高田城址公園がこれからも県内外の皆様との交流の懸け橋としてありますことを願い、微力ではございますが当社「さくら咲く」プロジェクトは今後も桜保全活動を応援させていただきます。
羽賀 洋 様	20,000 円	—
—	100,000 円	市は桜長寿命化計画に基づき桜の保全整備を実施しています。また、市民参加の桜プロジェクトの活動にも繋がっています。僅かな寄付ですが活動の広がりを期待します。
池田 雅夫 様	20,000 円	高齢化社会において、社会福祉の充実が望まれる。上越市に限らず、介護施設など適切な対応措置がとられているものと思いますが、より親身な推進をしていただけたなら幸いです。
—	20,000 円	少額ですが、コロナ対策に使っていただけたら嬉しいです。早くこの状況が収まるように頑張りましょう！今は帰れないですが、収まったらまた定期的に上越市に帰省したいものです。桜や建物など魅力的なものがたくさんある上越市なのでこれからも離れてますが少しでも力になればと思います。宜しく願い致します。
観桜会美化 キャンペーン 実行委員会 (株)キャップ広告 制作事務所 様	—	—
神山 裕美 様	100,000 円	母の介護で皆さまにお世話になっています。上越市の行政、社会福祉、医療関係の皆さまの丁寧な対応真摯なケアに心から感謝します。
富永 俊一 様	100,000 円	—
入江 博徳 様	—	—

お 名 前	寄附金額	上越市への応援メッセージ（原文のまま）
田中 嘉一 様	—	仕事の都合で東京都に住所を移しております。住民税は東京都に納税しておりますが、その一部を故郷、上越市の発展の為に使って下さい。
田中 康生 様	—	—
俵木 裕毅 様	—	—
森成 典子 様	20,000 円	—
安達 茂義 様	—	—
前崎 盛和 様	—	直江津を離れて既に 50 年以上経っておりますが、いつも故郷上越の発展を心から願っております。
前山 直樹 様	—	—
福田 良夫 様	100,000 円	—
石井 秀明 様	100,000 円	高田城の桜は見事です!!コロナに負けず頑張ってください。
内村 聡 様	—	—
鷲田 健太 様	—	—
池田 喜弘 様	30,000 円	—
—	100,000 円	コロナで大変でしょうが頑張って下さい。数年前謙信の刀(国宝)が購入できなかったというニュースはとても残念でした。何かの足しになればと思います。
尾崎 悠 様	10,000 円	いつも応援してます。子供のころに与えてもらった思い出の恩返しになれば。
美山 良薫 様	100,000 円	—
内山 今佐己 様	—	—
住吉 敬 様	200,000 円	新井のカザマスキーの会社がなくなったことも、スキー発祥記念館が開業したことも、つい最近知りました。先日、祖父の内山繁が 1913 年 2 月 11 日の第 1 回全国スキー大競技会で入賞していたことを、スキー発祥記念館で知りました。記念館も 30 年近く経過していますので、備品の保護や手入れや等大変かと存じます。役立てていただけましたら幸いです。

【担当・お問合せ先】

上越市 財務部 用地管財課 財産運用室

〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号

電話：025-520-5642（直通）

FAX：025-526-6114

E-mail：youchikanzai@city.joetsu.lg.jp

URL：http://www.city.joetsu.niigata.jp

